

## 環太平洋パートナーシップ首脳声明

(仮訳)

2014年11月10日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの首脳は、閣僚から我々に報告があった通り、この画期的な環太平洋パートナーシップ（TPP）交渉を妥結へと導く過去数か月の大きな進展を歓迎する。我々は、閣僚及び交渉官が、昨年バリで我々が与えた指示に従って、協定の条文案の残された懸隔を狭め、相互に市場を開放するための野心的かつバランスの取れたパッケージの完成に集中的に取り組んでいることに勇気づけられている。終局が明確になりつつあることを受けて、我々は、閣僚及び交渉官に対し、企業、労働者、農業従事者及び消費者ができる限り早期にTPP協定による実際の実質的利益を享受し始めることができるように、この協定を妥結することを最優先とすることを指示した。

我々は、交渉を妥結させるために交渉団を集める際に、最終的な協定が、各国における経済の競争力を強化し、イノベーションと企業家精神を奨励し、経済の成長と繁栄を促進し、及び雇用の創出を支援する、野心的、包括的、高い水準かつバランスの取れた協定という我々の共通の構想を、反映することを確保することに引き続きコミットしている。我々は、協定の利益が持続可能で、幅広く、及び包括的に開発の促進に役立つこと、並びに協定が各国の発展段階の多様性を考慮することを確保することに従事している。我々が策定しているオープンな取り組みが地域全体に更に幅広く拡大すれば、TPPが各国それぞれにもたらす利益は更にもっと拡大し得る。我々は、TPPの高い水準を採択する準備ができて他の域内のパートナーを加入させ得るTPPの仕組みに引き続きコミットし続ける。

このプロセス全体を通じての我々の閣僚に対する基本的な指示は、各国それぞれに可能な限り最大の利益を生み出す成果を得ることであった。各国政府は、それを達成するため、各国がステークホルダーから受け取ったインプットを交渉に反映させる作業を行ってきた。継続的な協議は、閣僚が交渉において残された課題を解決するために作業を行う際に重要であろう。